



川の水は土地をどのように変えていくの

川の水の3つのはたらき

流れる川の水には、けずる、運ぶ、積もらせるという3つのはたらきがあります。川の水が流れるときに、川底や川岸をけずります。これをしん食作用といいます。

川の流は、小石や土砂などを運びます。このはたらきを運ばん作用といいます。川の流がゆるやかになり、運ばん作用が弱くなると、小石や土砂などが、川底に積もるようになります。このはたらきをたい積作用といいます。

山が平地に変わる

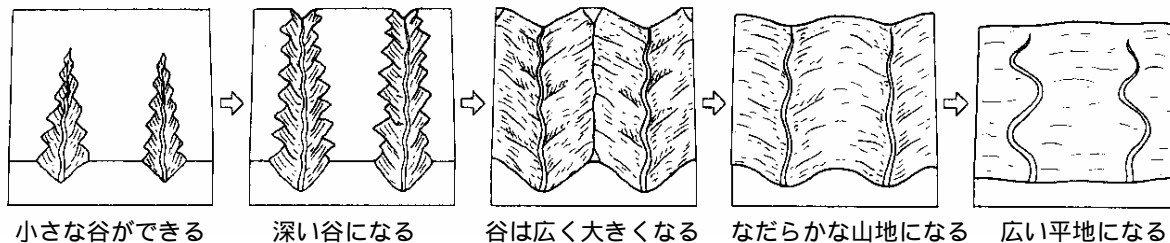
川の水の3つのはたらきによって、土地のようすを変えていきます。

川のしん食作用は、川底や川岸をけずることだけでなく、そのまわりの広い地域にわたって、土地のようすを変えていきます。

川のしん食作用が始まると、小さな谷ができます。しん食が進むと、Vの字のような形をした、深い谷（V字谷）になります。さらにしん食が進むと、谷は広く大きくなり、山はけわしくなります。けわしい山はけずられて、なだらかな山地になります。

やがて、なだらかな山地はけずられて、広い平地に変わっていきます。このようにして長い年月の間に、土地のようすが大きく変わっていきます。（監修・国司 真）

土地の変わり方



小さな谷ができる

深い谷になる

谷は広く大きくなる

なだらかな山地になる

広い平地になる

